

## 広域型生活支援コーディネーターの主な活動について（平成30年6月～8月）

### 1. 第1回の協議会中止に伴う、各委員へのヒアリング

6月18日に発生した大阪府北部を震源とする地震の影響で、第1回の協議会（が中止になったため、協議会各委員に個別にヒアリングを行うなどして資料や今後の取り組みについて確認。

#### （ヒアリング事項）

- ・これまでの協議会での議論と「今後取り組む具体案」の進捗状況について。
- ・平成30年度に取り組む具体案（仮称：地域福祉講座、仮称：お助け隊）について。

#### （主な意見）

- ①平成30年度に取り組む具体案の実施には全員が賛成。
- ②広報が大事。市報に掲載しても全員が読むわけではなく、字が小さいため高齢者は読みにくい。直接高齢者に伝える工夫が必要。
- ③（仮称）お助け隊のネーミングでは、従来の「助ける人／助けられる人」のイメージが消えない。「お互い様」となるような呼びかけの工夫が必要。
- ④（仮称）地域福祉講座を通して地域団体の担い手を増やすことも必要だが、地域団体を支える「地域団体サポーター」のような担い手を養成・登録するなどの検討も必要ではないか。

### 2. 吹田市高齢者社会資源リスト等の発行

介護保険外の家事援助サービスや配食サービス、スーパーなどの配達サービスなどの情報を収集し、吹田市高齢者社会資源リスト「生活支援サービス編」を作成し発行。

また、シニア世代の活動場所リスト「ドキドキの出会い、あります。」、生活支援体制整備リーフレット「高齢者が暮らしやすいまちのつくり方」を作成し発行。

いずれも吹田市、吹田市社会福祉協議会のホームページで閲覧可能。

### 3. 関係機関の会議等に参加し、高齢者生活支援体制整備事業について情報共有

#### ①ブロック別地域ケア会議事務局会議

- ・ブロック別地域ケア会議・すいたの年輪ネットの連携について。

#### ②吹田市地域ケア会議調整会議

- ・吹田市高齢者社会資源リスト「生活支援サービス編」、シニア世代の活動場所リスト「ドキドキの出会い、あります。」、生活支援体制整備リーフレット「高齢者が暮らしやすいまちのつくり方」について周知。